



[様式第3号]

資料提供年月日	令和 3年 9月 30日	
問い合わせ先	課 名	国際課
	電 話	直通 803-1112 内線 3252
担 当 者	職名・氏名	課 長 大原
	職名・氏名	事務員 金

広 報 連 絡

- 1 件 名 令和4年度第1回「やさしい日本語」講座の参加者を募集します
- 2 目 的 多文化共生社会の推進のための取り組みとして、外国人の方々にも分かりやすい日本語で情報を伝える方法等を学ぶ「やさしい日本語」講座を開催します。
- 3 日 時 令和4年11月11日(金) 10時～11時30分
- 4 場 所 岡山市役所7階 大会議室
- 5 内 容 【第1回】テーマ：「やさしい日本語」で話そう
～外国人に伝わる易しくて優しい日本語～
講 師：^{おおひら まきこ}大平 真紀子さん
環太平洋大学 国際・教養教育センター日本語教育部門 主幹
- 6 申 込 方 法 令和4年11月4日(金)までに国際課へ電話でお申し込みください。(086-803-1112)
- 7 主 催 岡山市、岡山市国際交流協議会
- 8 そ の 他 全2回開催します。
電話にて申込受付。参加費無料。別添資料参照。

第2回は令和5年2月に開催する予定です。詳細が決まり次第、広報連絡をします。

第1回

令和4年度多文化共生のまちづくりセミナー

「やさしい日本語」講座

分かりやすい日本語での情報伝達についてお話いただきます。
多くの市民の皆様の参加をお待ちしています。

「やさしい日本語」は、分かりやすい日本語を使うことで
外国人はもちろん、子どもや高齢者、障がい者など
いろいろな人に情報を伝える有効な方法の一つです。

「やさしい日本語」で話そう
～外国人に伝わる易しくて優しい日本語～

講師：大平 真紀子さん

環太平洋大学

国際・教養教育センター日本語教育部門 主幹

日程 2022年 11月 11日 (金)

時間 10:00 ~ 11:30

会場 岡山市役所本庁舎 7階 (大会議室)

※会場は裏面地図をご覧ください。

参加費
無料

※11月 4日(金)までに電話にてお申込みください。(先着50名)

当日はマスクの持参と着用をお願いします。



新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、開催内容の変更や開催中止となる場合があります。ご了承ください。

申込・問い合わせ

岡山市国際交流協議会(岡山市国際課内)

TEL

086-803-1112



主催：岡山市、岡山市国際交流協議会

駐車場案内



Dパーキング岡山市役所 (来庁者駐車場)

駐車券を会場に持参すると

1時間のみ無料

新型コロナウイルス感染症予防のため



マスクの持参と着用をお願いします。



手の消毒にご協力をお願いします。



検温にご協力をお願いします。

■「やさしい日本語」とは？

「やさしい日本語」とは、普段使われている言葉を外国人にもわかるように配慮した、簡単な日本語のことです。1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災では、たくさんの人が大変な被害を受けました。その中には、日本語を十分に理解できない外国人もたくさんいました。

こんな大変なときに、情報が得られなくて困っている。自分の国の言葉で相談できる人もいない。どうしたらいいのだろうか…。そんな人たちが、災害発生時にできるだけ早く正しい情報を得られ、適切な行動をとれるように考え出されたのが、「やさしい日本語」です。

- (1) 小学校2・3年生で習う簡単なことばを使用
(日本語能力検定試験3・4級レベル)
- (2) 1文が短い。(ひらがなだけで書くと24字以内)
- (3) 災害時によく使われることばや知っておいた方がよいことばは説明を加え、そのまま使う。(「津波」、「避難所」、「余震」など)
- (4) カタカナ外来語はできるだけ使わない。(「デマ」など)
- (5) ローマ字は使わない。
- (6) 擬態語や擬音語は使わない。
- (7) 使用する漢字や使用量に注意し(1文あたり3、4字)、全てにルビを振る。
- (8) 名詞化された動詞は分かりにくいいため、できるだけ動詞文にする。
- (9) あいまいな表現は避ける。
- (10) 二重否定は避ける。
- (11) 文末表現はなるべく統一する。
- (12) ことばのまとまりを認識しやすいよう、短いポーズを多く用いる。

■「やさしい日本語」は外国人のために使うものなの？

「やさしい日本語」は、外国人はもちろん、小さな子どもや高齢者、障がい者など、いろいろな人に配慮したコミュニケーション方法の一つです。難しい言葉を簡単な言葉に言い換えるだけでなく、身振り手振りで示したり、絵や写真を使ったり、ゆっくり大きな声で話したり、漢字にルビを振ったり、文字を大きくしたりと、いろいろな工夫をすることで、相手にとってわかりやすい言葉に変わります。

■「やさしい日本語」講座を開催する目的は？

- 「やさしい日本語」が外国人はもちろん、小さな子どもや高齢者、障がい者に情報を伝える有効な手段の一つであることを知ってもらう。
- 「やさしい日本語」の文を作れるようになってもらう。
- 日ごろの会話や文章を考える時に「やさしい日本語」を使うことを心がけ、災害などが起こったときに「やさしい日本語」を使って情報を伝えることができるようになってもらう。